

三郷市パブリック・コメント手続きの結果について

- 1. 題名  
三郷市地域公共交通計画（案）
- 2. 案の公表の日  
令和7年11月25日（火曜日）
- 3. 意見募集期間  
令和7年11月25日（火曜日）から12月24日（水曜日）まで
- 4. 意見提出人数  
5名（12件）
- 5. 意見募集並びに市の考え方（事務局案）

No.	該当章	該当ページ	いただいたご意見の要旨	市の考え方（事務局案）
1	1	p2	<p>【カーシェアリング導入について】</p> <p>1. 3 計画の対象について アンケートの結果によると、市民の移動手段に占める自家用車の割合がかなり高いことがわかります。三郷市の地理的な位置や利便性、公共交通網の現状を考えると、自家用車に依存することもやむを得ないといわざるをえないと考えます。 しかしながら、各種の統計によれば、日本の自家用車の稼働率は平均して5%にも満たないとされています。一方で、その維持経費はたいへんに高額です。そんな中で、最近注目されているのが「カーシェアリング」です。 タイムズなどの先行事業者だけでなく、レンタカー会社も軒並みカーシェアリングを並行して事業化しており、専用置き場も増えてきています。公共交通手段の補完として新たな移動手段を提供するには、利害関係者との調整や技術的な課題の克服、地域全域をカバーすることの困難がともないます。 したがって、これと並行して、市民の経済的な負担を軽減することが可能なカーシェアリングの導入を、両地自治会や町内会を中心に市民に推奨するのも良いと考えます。財政的な措置は、多少の助成（駐車スペースの確保など）を考慮しても安上がりであり、自家用車を減少すれば、脱炭素目標にも資すると思料します。 計画の対象としてご検討いただきたい。</p>	<p>ご提案いただいたカーシェアリングをはじめとしたシェアモビリティについては、公共交通を補完する新たな移動手段であることから、「施策② 新たな移動手段やサービスの導入検討(p20)」において、選択肢の一つとして検討してまいります。</p>
2	3	p6	<p>【戸ヶ崎からの市内移動について】</p> <p>戸ヶ崎からの市内間の移動が辛いことから買物や食事、映画等の娯楽は八潮市や都内が多く、三郷市内の利用が少ないため、戸ヶ崎からの市内移動がもっとしやすくなるとよい。</p>	<p>戸ヶ崎からの市内移動につきましてはワークショップでも同様の意見があり、「路線バスの維持やその他の移動サービスへの転換について、検討が必要な地域（p13）」として位置付けておりますので、その中で検討してまいります。</p>
3	3	p6	<p>【乗り換え割引の導入について】</p> <p>目的地までバスの乗り換えが必要な時などは、乗り換え割引があると便利</p>	<p>ご提案いただいた乗り換え割引については、路線バスの利用促進や利用環境の充実につながることから、「基本目標② 利用しやすい公共交通環境の整備（p7）」にかかる取組の中で参考とするともに、各路線バス事業者と協議してまいります。</p>
4	3	p13	<p>【メーター観光線の撤退について】</p> <p>新三郷⇄吉川を走るメーター観光を廃止しないで下さい。 泉宮住宅に住む高齢者の方の買い物足がピアラ行きがなくなったため、買物（新三郷、ららぽーと）の唯一の足になっています。</p>	<p>吉川市と協力し代替交通の確保に向けて、運賃等の設定をはじめとした協議を進めております。 必要な手続きが完了次第、市民のみなさまに周知してまいります。</p>
5	3	p13	<p>【地域移動サービスの導入等について】</p> <p>「検討が必要な地域」の設定については、それぞれ移動困難地域に重なり、妥当と考えます。 一方、当該地域は既存の事業者が採算を確保して営業をおこなうことが現実的とは考えにくく、それぞれ市と住民が中心となって地域移動サービスを導入すべきと考えます。その際に考慮すべきポイントは、通勤・通学時間以外の市役所、医療・介護、買い物、金融機関へのアクセスの便宜を図ることだと思料します。 なお、各地域とも市役所、ピアラシティ、ららぽーとなどへのアクセスを改善する配慮が必要かと思料します。 戸ヶ崎については同地域内の商業施設を巡る地域バスを導入し、京成バス東京と連結することも一案としてご検討ください。</p>	<p>ご賛同いただきありがとうございます。 通勤・通学以外の市役所、医療・介護、買い物、金融機関、商業施設へのアクセスなどの課題につきましては、各地域毎に状況が異なることから、「施策② 新たな移動手段やサービスの導入検討(p20)」の中で、地域のみなさまと協力して検討してまいります。</p>
6	4	p16	<p>【路線バスの再編について】</p> <p>16ページの路線バスに関して バスの路線を再編し、三郷中央駅を中心として、三郷市内を放射状に繋ぐ路線としてまとめる事を提案します。 これまで、昔からある路線を大きく変える事をせず、継ぎ足し継ぎ足しで変更していますが、つくばエクスプレスの開業と道路整備により、環境が大きく変わっており、無理が生じているため、現状に合わせて作り直す事が効果的になります。 その中で、一番重要なことは、都心へ20分で着く事ができる三郷中央駅を、三郷市内で最大限に活用する事です。 中央駅から各地域拠点へ放射状に路線を伸ばす事で、時間短縮のメリットが市内全域に広がる事になります。 10ページに示されている三郷市都市計画マスタープランに則る事にもなります。 例えば、三郷中央から地域拠点であるピアラシティを通り新三郷駅へ繋ぐルートです。 これまでの大場川沿いから三郷駅を通り新三郷へ行くルートでは、並行する武蔵野線があるため、交通手段が重複しています。 新しいルートではネットワーク軸である新和吉川線を通り、市役所へのアクセス便を増やし、ピアラシティと三郷中央駅をダイレクトに結ぶことができるため、ピアラシティの発展に繋がります。 さらに、三郷中央から南側も、ネットワーク軸である新高須線を通る事で、南の地域拠点の交通を確保する事が可能です。 既存のルートも、三郷駅から早稲田地区へと結ぶルートに変更すると、二方向の路線を確保する事ができます。 つくばエクスプレスの開業から大きく変わった三郷市をさらに発展するためには、人の移動がスムーズである事が重要な事になります。</p>	<p>本市のバス路線は三郷中央駅を中心として再編成に取り組んでまいりましたが、利用者の減少や運転手不足などさまざまな要因により、路線バスの減便や廃止等が相次いでおります。 路線バスの新設や増便については大変困難な状況であるため、「基本方針1 まちづくりや社会の変化に対応した一体的な公共交通網の構築（p7）」の中で参考とし、各路線バス事業者と協議してまいります。</p>

No.	該当章	該当ページ	いただいたご意見の要旨	市の考え方（事務局案）
7	4	p18	【自動運転の導入について】 運転手不足には、自動運転の導入が必要である。	ご提案いただいた自動運転の導入については、公共交通の新たな移動手段であることから、「施策② 新たな移動手段やサービスの導入検討(p20)」において選択肢の一つとして検討してまいります。
8	4	p19	【路線バスの乗降について】 低床車両が100%になったとしていますが、利用者としては、乗り降り時に楽になったという実感がありません。 新三郷駅南循環路線の乗車時に、乗車口が高く、うまく体を持ち上げられず崩れ落ちてしまったという友人もあり、バス停の位置、バスの停車位置や、実際の車高を下げる操作の徹底など図っていただきたい。	各路線バス事業者へ情報提供を行い、ノンステップバスの運用について協力をいただくとともに、待合環境等の整備について「基本目標② 利用しやすい公共交通環境の整備(p7)」の中で参考としてまいります。
9	4	p20	【新たな移動手段やサービスの導入検討のスケジュールについて】 あらたな移動手段やサービスの導入検討のスケジュールを見ると、調整に4年もかかり、実証運行は5年目としていますが、あまりにも長すぎます。 市内の送迎移動手段を有する福祉施設、学校、スポーツ施設等の事業者の協力を得て、速やかに実証運行を実現していただきたい。	いただいたご意見を踏まえ、「施策② 新たな移動手段やサービスの導入検討(p20)」のスケジュールについては、地域住民や事業者との調整が整い次第、実証運行を目指してまいります。
10	4	p22	【自転車道や自転車の取扱いについて】 三郷市は平たい土地なので自転車に向いている。新しい道路をつくるときは、車道、自転車道、歩道を3つ必要です。 雨の日のカサさし運転、無灯火運転にはレインコートの推奨、無灯火には自動点灯でない自転車の販売禁止など。自転車販売店には、修理技術者を置くことを義務づけるなどが必要である。	いただいたご意見については、関係部署へ情報提供をおこなってまいります。
11	4	p24	【バス待ち環境整備のスケジュールについて】 「環境整備」が5年目にならないと始まらないのは、納得できません。 一般のバス停と、大型のスポットを区別してスケジュールを見直してください。	いただいたご意見を踏まえ、「事業⑤-2 バス待ち環境の整備(p24)」のスケジュールについては、現場状況に応じて実施主体と協議し、環境整備を目指してまいります。
12	4	p29	【高齢者に対するインセンティブについて】 免許返納者に限らず、また、返納年度に限定せず、もっと高齢者に対する持続的な経済的なインセンティブ（無料バスなど）を供与して欲しい。	いただいたご意見については、関係部署へ情報提供をおこなってまいります。